

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	◎	*	*	*
	○	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・富裕層の購買が活発になりつつあるため、高額品の動きが良い。
	○	スーパー（店長）	お客様の様子	・競合店の閉店に伴い、来客数が増加した。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・通常時の来客数はやや少なく、週末はやや多い。トータルでは前年より多くなっており、以前よりメリハリがある。
	○	家電量販店（店員）	単価の動き	・高単価なエアコンが自然に売れている。
	○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	販売量の動き	・エアコンが売れている。エアコンと蛍光灯の規制の変更についてマスコミ等で取り上げられることが多くなり、安いうちに買換えたい客の来店が増えている。4月は台数が前年比150%程度になりそうである。
	○	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊、宴会及び食堂共に前年比では増加している。中国の出国抑制の減少分は、国内需要でカバーしている。
	○	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・都心部に用事があるが泊まれない客が多く泊まっている。
	○	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・レストランは、ランチや喫茶が比較的好調だが夜は弱い。宿泊は、前年並み。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・全体的に、雰囲気明るい。
	○	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・今月からキープキャンペーンが始まり、新規客へのキープ品の販売がある。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・12月は忙しかった。今年も1月～2月は寒かったため、客足が悪かったが、4月に入り、多少は人出が良くなってきた。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・最近の商店街への来客数は飽和状態ではなく、食べ歩きや買物袋を下げた客が多い。
	□	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・一足を購入するために様々なデザインの靴を試し履きするが、考えるといつて購入に至らない客が目立った。領収書を発行する客も2～3足異なるデザインの靴を履いた上で購入することが多いため、1人当たりの接客時間が長くなる。
	□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・運営商業施設における客の動向には特に変化がない。ターミナル駅は商業施設の状況が大きく変わったため、人流の変化がみられる。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・住宅業界においては建築費の高騰に伴い、過去最高の売値を更新し続けているため、販売が伸び悩んでいる。
	□	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・物産展や食品改装テナントなどによる売上は好調に推移している。特に物産展は、値上げ影響分の売上は増えている。
	□	百貨店（販売担当）	単価の動き	・高額品の購入は引き続きみられ、購買意欲のある方は一定数みられる。中価格帯商品も動きはあるが、全体的な価格上昇により単価が上がっている。一方で価格面による買い控えもみられるため、良くなっている感じは余りなく横ばいと考ええる。
	□	スーパー（店員）	販売量の動き	・土日の売上が予想より上がらない。競合先に合わせ値段を抑えている。
□	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・単価の上昇は止まらず、買上点数は伸びていない。ただし、客が必要とみる物の購入は減っていないため、販売側がその動向を捉えている商品の販売は伸びている。まだ供給が不足しているものはないため、新型コロナウイルス時に発生した紙製品のパニック買いのようなことはない。	

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・春先に需要が増えるトレンド商材について、1人当たりの購入点数が減少傾向にある。特におにぎりやサンドイッチなどの軽食類は、相次ぐ値上げの影響がこの傾向が著しい。だからといって菓子類などの嗜好品が下落しているわけでもないため、客が買い合わせなどを考え、総額を気にしながら買物をしているとみる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比5%マイナスである。売上は値上げ等の影響から前年並みを保っているが、総じてみれば景気は余り良くないとみる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・新年度を迎え、駅利用も落ち着いた様子で売上はほぼ横ばいである。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・4月入社の新従業員用の備品購入は例年並みに安定しており、その他の備品購入目的の来客数も安定している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・月間通して購入来客数は伸び悩んだが、月中旬から月末にエアコンが売れ始め、月単価が上がった。結果、売上は大きくは変わらなかった。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月に関しては新車や中古車の販売量は予定どおりの動きをしており悪い印象は受けない。環境性能割の廃止でファミリー向けのミニバンを中心に売れていて、意外な効果が出ている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・販売台数は減少しているが、販売単価が上がっており、値引き競合もなくなり1台1台大切に販売することにより利益は確保できている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・手にする商品価格はますます上がってきていると強く感じているが、買わないと生活できないと諦めのムードが強い。さらに、世界情勢の影響により原油由来製品の品薄が商品によっては実感されつつあり、今後どうなるのか不安感が大きい。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・既存店では前年を超えてはいるが、平日と休日、昼と夜の差が大きく、特に法人利用は厳しい。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	販売量の動き	・販売量は前年比102%前後で推移している。消費者は物価高を気にしてはいるが、販売量への大きな影響はみられない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・雨天日が多く集客には悩まされ、月次の目標に届かなかった。週末のイベント等が開催される日は比較的天候に恵まれたが、それでも入園者数は思ったほど伸びなかった。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・天候が暖かくなり旅行の問合せも増えてはいるが、やはり物価高の影響により思いとどまる方もいる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・早くも夏休み商戦がスタートしている矢先の海外燃油サーチャージ料金値上げにより、かなり国内需要に流れ込んでいる。国内も北海道や沖縄はやはり人気のエリアだが、価格上昇の影響で値段の折り合いが難しいケースもあり提案も大変である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・今までは個人の申込が多かったが、事業所の申込も増加している。アナログ回線終了に伴い、光回線を導入する事業所が増えている。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・中東情勢の影響で取引先からビニールフィルムやアプローチ商材が欠品する可能性を伝えられた。仕入先を変更したり対策を講じているが先行きが不安定。価格上昇も避けられない。
<input type="checkbox"/>	パチンコ店（従業員）	来客数の動き	・競合店がオープンして来客数が大幅に落ちている。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	お客様の様子	・中東情勢の影響が大きい。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・中東情勢による影響で材料納入の遅れ、価格の高騰が始まっている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・中東情勢の影響はあるが例年どおりの低調な年度スタートであった。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	単価の動き	・動きはあるが単価があがらない。

▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・この地域では20年に一度の神事が始まっている。活気付くイベントが始まる一方、物価高や米国の関税、中東と米国との関係の影響が大きく、観光業界に大きな影を落としている。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・花が咲いて値下げした商品を買う客が増えたようにみられる。花束等の予算も税込みでという注文が結構あり、配達料まで込みで予算をいわれることもある。
▲	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・石油製品が高くなったことにより、関係する資材の高騰が続いている。客は財布のひもが固くなり、少しでも安い物を探して買物をしている様子である。そのため、経済全体の消費は少し悪くなっている傾向であり、物価高に給料が追いついていない側面もある。
▲	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・来客数は増えているがなかなか購入に結び付かない。通販の売上も伸びない。
▲	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・4月上旬頃までは、入店客数も3月同様に伸長し、衣料品や雑貨などの動きも好調であった。しかし、日を追うごとに中東情勢が混迷を極めつつある報道なども多くなり、消費者の生活防衛的な動きからか入店客数も少しずつ伸び悩み、売上も前年を確保できない日も見受けられるようになってきた。
▲	スーパー（店長）	お客様の様子	・ポイントや割引セール以外は売れなくなってきている。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・平日の来客数が前年を超えない状況である。
▲	スーパー（店員）	お客様の様子	・生活必需品は単価上昇含めて好調であるが、し好品中心に販売金額と数量共に前年の実績を下回る状況もみられる。
▲	スーパー（店員）	お客様の様子	・4月の平均気温が20度を超えるようになって、食材を腐らせないよう必要な分だけ買う傾向が見受けられる。春休みを迎え子供のお昼ごはん用の買物もあったがやはり限定的であった。
▲	スーパー（店員）	来客数の動き	・例年同様、年度末から求職者数が増加しているが、今年度は物価高、人件費高騰による経営環境の悪化なども影響している。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の減少が進んでいる。今までは来客数の減少を客単価の上昇により売上を補っていたが、カバーしきれなくなってきている。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・各種、公共料金の支払等が重なった時期であり、支出が多く苦しい家計状況が見受けられた。ドリンク1本、おにぎり1個、パン1つといった1つだけの購入が多くみられた。1回の買物で千円以上を毎日購入していた客が、500円以内に抑えて節約され始めたのも自己防衛の現れである。
▲	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・4月の売上は前年比97.4%。その内訳として来客数前年比96.8%、客単価前年比100.6%となっており、これまで継続していた物価高騰の影響による客単価の押し上げ効果が落ち着きを見せ始めた一方で、来客数の緩やかな減少傾向が顕著になってきた点は懸念すべきである。この来客数減少の主な要因については、株価の上昇や物価の上昇といった指標上の数字とは裏腹に、一般消費者の生活実感としての景気は決して上向いておらず、むしろ生活防衛意識が高まっていることが背景にあるのではないかと。
▲	衣料品専門店（売場担当）	来客数の動き	・就職活動シーズンが終わり、スーツを必要とする人が少なくなった。新入社員や追加で買いに来る人もいるが、スーツというより軽いセットアップを探しに来る人の方が多くなっている。上下別々のサイズで選べるし、ラフな印象も与えられる。その他にはノーアイロンのワイシャツが売れているが、来客数は減っている。
▲	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・中東情勢の影響によるガソリン代への不安や物価上昇等から支出を抑えようという動きも多い。

▲	乗用車販売店 (従業員)	それ以外	・全体の雰囲気から景気はやや悪くなっていると判断した。売れていないわけではなく、問合せもあるが、勢いや元気がない。出品されている車も今一つ売れていない。
▲	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・物価高に対する買い控えがどんどん進んでいる。
▲	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・4月から車を購入する際の税金(環境性能割)が廃止になり、その分総額が安くなっているのに客足は鈍い。中古車はそれなりに売れるが、新車は価格が上がっているせいかなか売れない。
▲	その他小売 [ショッピング センター](経 理担当)	それ以外	・新設鋼橋発注量や民間建設投資、鉄骨需要は低迷し、伸び悩んでいる。
▲	一般レストラン (従業員)	販売量の動き	・ゴールデンウィークに出掛けるのを控えているのか、仕出し料理の注文が増えている。
▲	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・前年比の来客数はこれまで増えていたが、3月以降は減少している。4月～6月の宿泊の予約数も前年より少ないため、景気としてはやや悪くなっている。中東情勢の影響や原油価格高騰の政情不安が顧客心理を冷やしている。
▲	旅行代理店(経 営者)	来客数の動き	・原油価格高騰により海外渡航が厳しくなっている。
▲	旅行代理店(経 営者)	それ以外	・近隣の喫茶店やレストランの来客数が以前より減っており、夕食には無料でコーヒーを付け始めたり、周年記念として通常より割安なディナーコースを何か月も続けるなど必死で常連客のつなぎ止めをしている。逆に高級スーパーの来客数が増え始めたり、ドラッグストアが肉や野菜等のコーナーを拡充するなど競争の激化が進み始めている。外食から内食へと節約が静かにゆっくりと進んでいる。
▲	旅行代理店(営 業担当)	販売量の動き	・原油価格高騰の影響による燃油サーチャージが約2倍に値上げとなり、ゴールデンウィークの海外旅行の渡航者数の減少に影響している。旅行代金は家族単位で10～40万円程度増加しており、さすがにそこまで余暇に充てる余裕はない。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・中東情勢の影響により様々な弊害が発生しているため、以前と比べても状況が非常に悪くなっている。本来この時期は上向き傾向であるはずが、全く逆の動きになっている。石油が入ってこないために本来では考えられない物価高になっており、客の買い控えが顕著になって非常に人出が悪い。早く中東情勢の問題を解決して本来の状態に戻してほしい。
▲	テーマパーク (職員)	お客様の様子	・中東情勢の影響により欧米のインバウンドが減っている。
▲	観光名所(案内 係)	お客様の様子	・誰に聞いても、値上げがどんどんひどくなっていると返答がある。
▲	ゴルフ場(経 営者)	単価の動き	・良くなる要因がない。
▲	パチンコ店(経 営者)	販売量の動き	・新年度が始まり、客は忙しい日々を過ごしているのだろうと推測する。実際に来店する頻度が落ち、売上が減ってきている。
▲	理美容室(経 営者)	来客数の動き	・天候が暖かくなり客が増える時期であるが、客は余り来ない。
▲	美容室(経 営者)	お客様の様子	・客からは値上がりやガソリンなどの中東の海峡封鎖に関する話題が多い。先が見通せないという声ばかりで、余り良い話が聞けない状況が続いている。
▲	その他サービス [介護サービ ス](職員)	それ以外	・中東情勢の影響により、資材やウレタン、プラスチック系素材を使った製品、商品等の緊急価格改定や発注制限が通達され、少なからず悪影響が出ている。
▲	設計事務所(職 員)	お客様の様子	・客から景気が良くなるという話は聞かない。

	▲	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・中東情勢の影響により、大手企業でもナフサやシンナーの確保に苦勞し2か月先までのめどしかたっていない。また、主に塗料などの建築資材が不足しており、建築工事が止まり始めているとのことである。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕(経営者)	それ以外	・不動産業の社長に聞いたところ、購入希望者はいても、価格が高いためなかなか決まらず、ハウスメーカーの建売も余っていると言う。同業の不動産業者の間でも、過剰在庫で新築住宅も中古住宅も売れず、オイルショック以来の苦戦とのことで、この先厳しい状態が続きそうである。
	▲	その他住宅〔展示場〕(従業員)	来客数の動き	・住宅展示場に来場する人数は減少しており、実際のハウスメーカーの成約数も減少している。
	×	商店街(代表者)	お客様の様子	・ガソリンを始めとする物価が更に上昇し続けており、物の買い控えの様子がみられる。
	×	一般小売店〔結納品〕(経営者)	販売量の動き	・毎年4月は多少景気は上向くが、今年はそうではない。
	×	百貨店(経理担当)	それ以外	・中東情勢の影響に伴う原油、石油製品高や金利の動向、株価の乱高下など先行きの不透明感から、全所得者層で慎重な消費姿勢が見受けられる。
	×	コンビニ(企画担当)	販売量の動き	・これまで来客数が前年割れの状態が続いていたが、それに加え売上も前年割れの状態となった。客単価の上昇で維持していた売上がついに維持できなくなった状況である。
	×	コンビニ(店長)	来客数の動き	・例年であれば2～4月にかけて徐々に売上が上がっていくが、今月は来客数が大幅に減り、2月並みの売上となってしまった。
	×	衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・来客数は変わらないが、単品購入が多いため客単価が下がっている。例年は一見客の購入が多い時期であるが、今年は来店すらない。
	×	衣料品専門店(販売企画担当)	販売量の動き	・販売量が、前年比では70%ほどになっている。
	×	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・例年4月は需要が下がる傾向にあるとともに、最近では中東情勢が不安定なことも重なり、重苦しい空気が漂っている。
	×	バー(経営者)	来客数の動き	・歓送迎会は全くない。
	×	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・前年同月と比べると、新規加入数は2割減少、解約数は2割増加、最も件数の伸びる3月と比べると、新規加入は半減、解約数は同程度と、かなり悪化している。
	×	設計事務所(経営者)	それ以外	・ほとんど案件はない。
	×	住宅販売会社(従業員)	競争相手の様子	・下請業者から休めるようになったと聞いた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	鉄鋼業(経営者)	それ以外	・年度替わりの季節要因で3か月前よりまだ良い。
	○	電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先の設備投資がある程度期待できるため、今後は楽しみである。
	○	輸送用機械器具製造業(品質管理担当)	それ以外	・人材不足のため派遣社員を何名か入れたが、全く定着しない。気に入らないとすぐに他へ行ってしまう。
	□	食料品製造業(社員)	受注量や販売量の動き	・各種原料価格の高騰を受けて、製品価格を改定した結果、一部商品について販売数量が低下している。
	□	化学工業(総務秘書)	それ以外	・目下の懸念は中東の海峡封鎖で、海外旅行組には大きな痛みはあるが一般市民にはさほど大きな負担は強いられおらず、株価の動向が映すように良好な景況感が保たれている。売手市場の採用状況、初任給の引上げや賃上げ報道も多く、景気は下向きではない。
	□	窯業・土石製品製造業(社員)	受注量や販売量の動き	・ほぼ全分野で客からの注文が順調で、今月も4月としては過去最高の売上となった。

□	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今月は特に北米における半導体関連の設備投資が多かった。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・業務は進んでいるものの、予定の範囲内で、良いとも悪いともいえない。
□	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・相場とみられていた土地の販売価格について、なかなか反響がなかったため表示価格を下げたところ問合せが増え、成約につながった。
□	通信業（法人営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・金融業顧客向けに通信サービスの相対契約を提案したが、価格交渉が難航するだけでなく、契約条件の細部にわたるまで既存契約を上回る条件交渉があった。ビジネスには必要不可欠な通信サービスボリュームを下げる所から経営改善を実施しようとしている様子が垣間見えた。とはいえ、新年度を迎えて早々となる4月に、景気が上向きや下向きになるかを示唆する分かりやすい動きは少なかった。
□	金融業（企画担当）	取引先の様子	・主要な取引先が発注価格に関して、人件費単価を値上げする等の経費見直しを検討し始めている。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも晴天の日が多いこともあり、前月までと同様に外出や遠出をする人が増加傾向にある。今月の売上は前年を上回っている。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・主に紙媒体関係の原材料価格が上昇しているため、広告出稿も受注量を減らされる傾向にある。
□	会計事務所（職員）	取引先の様子	・売上や利益が大きく変化していない。設備投資も必要最低限にとどまっている。
□	その他非製造業 [ソフト開発] （経営者）	受注量や販売量の動き	・大きな変化はない。相変わらず各社の設備投資は慎重で、新しい物がなかなか出てこない。競合先も仕事量は少なく、手隙の状態である。
▲	食料品製造業 （経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が想定どおり上がってこず、消費の勢いが明らかに弱くなったようである。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業 （顧問）	受注量や販売量の動き	・中東情勢の不安定化により、資材等の原材料価格が上昇しており、影響がある。また、円安も続いているため、受注量や販売量が減少して景気はやや悪い。
▲	化学工業（営業担当）	それ以外	・中東情勢の影響により原料のプラスチック価格が大幅に上昇している。4月の出荷数量は微増であるが、収益は大幅に減益である。5月以降は原料値上げの価格転嫁を実施し、収益面は改善見込みではあるが、容器の出荷量は減少する見込みである。
▲	金属製品製造業 （従業員）	取引先の様子	・何とんでも中東情勢の影響による各資材の調達不安が広まってきている。シンナー系に始まり、幅広い資材で先行きが見通せず、客先と納期の相談がしづらい。
▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・中東情勢の影響が続いていて原油価格高騰が続く。いろいろな物が不足し電気代にも影響が出る。
▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原油関連製品や並びにそれらに付随して販売される製品の出荷が減少している。
▲	輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量はあるものの、単価的に厳しくなっている。燃料代の高騰はもとより、各協力会社からは原油不足により資材調達が困難だと懸念の声が上がっている。そのうち、仕事の依頼があっても対応できない状況になるおそれがある。
▲	輸送業（従業員）	それ以外	・原材料価格の高騰などのため収益に影響が出ると予想している企業がある。しかし、人手は足りない企業がほとんどである。
▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・仕事の量や工場では生産量にさほど底下げはない。ただし、物価やガソリン代が高騰しているため、生活費が圧迫され節約しなければならないという声をよく聞く。皆、節約志向であることから、景気はやや悪いと判断した。

	▲	金融業（従業員）	それ以外	・日常生活やニュースをみる限り、原油価格やナフサ不足の影響により、物価の上昇やガソリン価格の上昇が引き起こされ、ガソリンの供給量も不安定となっている。
	▲	会計事務所（職員）	それ以外	・石油不足により、備品や資材の値上げ、供給不足が発生しており、先行きが不透明な状態である。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が落ち込んでいる。引き続き受注残も減少している。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・消費者目線では、石油関連商品がどんどん値上がりし、購買がますます慎重になっている。ゴールデンウィークであるが、外出しようという行動に結び付かない。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	取引先の様子	・新年度向けの販売量は増加しているが、価格改定が多く行われるようになってきた。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前と比べると求人数は増えているが、現状の景気は良くはない。
	□	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・中東の海峡封鎖問題により、製造業に大きな影響が出ている。人員削減の可能性のあることから景気は後退しているとみる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新年度に入り求人数は3か月前と比べると減少しているものの、前年同月比では横ばいで大きな変化はない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価は上昇傾向にあるが、物価高騰に対して引き続き賃金上昇が間に合っていない。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・中東情勢の緊迫化とともに原油価格高騰に伴う資材価格の高騰、中東向けの自動車生産や輸出停止等、業界への影響が出ている。先が見えない状況が長続きすれば雇用維持、最悪は廃業や倒産が増加してくると危惧している。
	□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数について、3か月前と比較して、全体的に2.7%減と微減の状況であった。産業別では、運輸業・郵便業、卸売小売業、宿泊業・飲食サービス業の新規求人数が増加、建設業、生活関連サービス業・娯楽業の新規求人数は減少となった。
	□	職業安定所（職員）	それ以外	・有効求人倍率はほぼ横ばいで同水準を維持しているものの、新規求人数などは微減が続いている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・中東情勢の影響により、トラックにとって必須のエンジンオイルがなかなか入手できない状況にある。オイル交換の時期を延期するなどの対策も考えているが、最悪の場合、車両整備に甚大な影響を及ぼして事業運営に支障を来す事態も想定される。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・中東情勢の影響により、事業環境及び利益確保を目的として一部企業でのキャリア採用凍結の動きも見られる。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・自動車関連企業の派遣先で、6月末で業務終了の話が幾つか発生している。一方で、今後の業務終了件数を上回るほどの引き合いが獲得できていない。
	▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	採用者数の動き	・相変わらず高額商品よりも単価の低いお買い得な商品の動きは良い。客単価としては代わり映えなく、横ばいである。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・催事の有無により月ごとの来客数は異なるが、前年と同様で大きな変化はない。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・一部に中東情勢の影響はあるが大きな変化にまでには至っていない。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・縫製業の廃業が頻発していることや医院の廃業が複数発生した。
×	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・登録者数は横ばいであるが、同業他社との競合が激化している印象を受ける。また、中東情勢の影響から募集を見合わせる取引先企業が出始めており、先行きが不透明である。	